

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

vol. **2**
2020.8

Rotary International District 2740



写真提供：佐賀県観光連盟

Rotary



2020-2021 年度 国際ロータリー第 2740 地区
ガバナー 花島 光喜



2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは機会の扉を開く

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
ガバナーメッセージ	2
地区大会日程変更のお知らせ	3
地区委員長挨拶	4
ふるさと鹿島の原風景・編集後記	裏表紙

Governor's message



新型コロナウイルス感染症の 影響&公式訪問

2020-2021 年度 第 2740 地区 ガバナー **花 島 光 喜**

2740 地区の会員の皆様こんにちは。ガバナー月信 8 月号原稿締切が 7 月初めです。

7 月号では*佐賀豪雨*新型コロナウイルス*国際協議会の研修内容*ガバナー就任の経緯*2020 ~ 2021 年度地区ビジョン (3 つの地区ビジョン) (地区テーマ)*地区運営 (DLP) (地区リーダーシップ・プラン)*クラブ運営 (CLP) (クラブ・リーダーシップ・プラン) 最後に国際協議会が終わり、地区三大研修 (地区チーム研修セミナー) (会長エレクト研修セミナー) (地区研修・協議会) の内容でありました。

7 月 1 日は例年なら、東京プリンスホテルで、パストガバナー・ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニーが、各分科会~その後一同に集まりガバナー挨拶があり直前ガバナーと新ガバナー、対面しての懇親会ですが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大で、ウェブ会議で 2 時間行われ同期のガバナーとの交流もなく、寂しい新年度のスタートとなりました。

三大セミナーでは『会長エレクトセミナー』『地区研修・協議会』も例年どおりのようには出来ず (DVD) と冊子での研修を余儀なくされました。56 クラブの会長エレクトの皆さんにお会いする事もなく、新年度を迎える事になってしまい少しでも意思疎通が出来るようにと、56 名の会長エレクトの皆さんとそれぞれに電話でお話することが出来、少しは心が落ち着きました。更に、ガバナー補佐の皆さん方とも再度お話が出来て、新年度を迎える準備が整ったところです。

***ガバナー公式訪問は下記のように訪問させていただきます、お世話になります。**

月	協議会 11:30分~	クラブ例会 12:30分~	協議会 17:30分~	クラブ例会 18:30分~
7 月	・北松浦 ・平戸 ・長崎東 ・佐賀西 ・唐津 ・唐津西 ・佐世保東南 ・長崎みなと ・長崎琴海 ・佐世保南		・武雄	
8 月	・諫早南 ・島原 ・島原南 ・嬉野 ・長崎西 ・長崎北 ・HTB 佐世保 ・佐世保 ・伊万里西 ・諫早 ・佐世保北 ・長崎北東 ・佐賀空港 ・佐世保中央 ・長崎中央		・諫早多良見 ・大町 ・大村 ・佐賀北 ・太良	
9 月	・佐世保西 ・長崎南 ・唐津東 ・長崎出島 ・雲仙 ・大村東 ・佐賀大和 ・多久 ・伊万里 ・神崎 ・松浦 ・佐世保東 ・牛津 ・長崎 ・唐津中央 ・福江中央		・有田 ・大村北 ・佐賀南 ・小城 ・諫早西 ・諫早北 ・福江	
10 月	・佐賀 ・鹿島		・ありません	

Governor's message

公式訪問、クラブ例会&協議会では、ホルガー・クナーク RI 会長のテーマ・及び RI の方針を伝えると共に、地区ビジョン（テーマ）、地区方針（DLP）のなかでは『RLI』準備の為ファシリテーション委員会の活躍をお願いすると共に、ローターアクトの増強、新クラブの設立、衛星クラブの設立のお願いを『AG、地区委員長・会長』をお願いします。宜しくお願いします。

『RYLA』は例年通りの活動に加えまして『新RYLA』委員会、塚崎ガバナーエレクト顧問就任で次年度は大幅に改革して頂きます。

尚ポリオ根絶は、最後の取り組みに地区、クラブが主体となり、ワンコイン運動で活動を致したいと考えております。皆様のご協力をお願い致します。

なぜポリオ根絶に、何かをやりようと思ったのか、アメリカ、国際協議会に参加して、15名弱のガバナーエレクトでロサンゼルス周りで帰る懇親会の席で東京麹町 RC の『山田 彝』『峰 英二』さんが、主となり『ポリオ免疫プロジェクト』を始められた。これを機会に、国際ロータリーで、ポリオ撲滅が始まり、40年が経過した現在、私は『ポリオ』といえば、恥ずかしながら海外での奉仕活動だあまり気に留めていませんでした。地区ビジョンで『世界及び地域社会で良い変化生み出します』の一環にもあたると思い計画致しました。

クラブ運営（CLP）では、戦略計画委員会（ロータリーの戦略的優先事項と目的）は、公式訪問、例会前の協議会で、重点的にお話を会長さんにお聞きして、他のクラブとの例を参考にして参ります。宜しくお願い致します。

その他、『会員増強、ロータリー財団、米山記念奨学会』については、地区委員・クラブ会長・委員会の皆様と共に活動して行きたいと考えております。宜しくお願い申し上げます。

『共にこの難局を乗り越えましょう』

*ロータリアンに今出来ることは自らが『ウイルスに感染せず・人に感染させないことに最大限注意しながら、我々が生業を守ることではないでしょうか。』

このことが今できる最大の職業奉仕であり、社会奉仕であると考えます。

地区大会日程変更のお知らせ

2021年5月21日（金）

16:00 ~	地区指導者育成セミナー	嬉野大正屋
18:00 ~	RI 会長代理歓迎晚餐会	嬉野大正屋

2021年5月22日（土）

12:30 ~	地区大会本会議	武雄市文化会館
---------	---------	---------

2021年5月23日（日）

8:30 ~	地区大会記念ゴルフ	会場未定
--------	-----------	------

地区委員長挨拶



ファシリテーション委員会 **吉岡 義治** (佐賀南 RC)



この度、ファシリテーション委員会（RLI 準備）委員長を仰せつかりました。

前年度の基本理念委員会をさらに推し進めたものが、ファシリテーション委員会です。前年度、2700地区で RLI 日本支部ファシリテーター委員長の中村靖治先生の RLI ディスカッションリーダー研修会（RLIDL）を受講し、10名のファシリテーターが当地区にも誕生いたしました。

社会奉仕セミナー、基本理念セミナー等でのファシリテーション形式採用で経験を重ね、今年はそれをさらに推し進めていきたいと思っております。

ファシリテーションを用いるとは、ひとつのテーマを参加者全員で議論を交わすことで色々な角度から考える機会を得、参加する個人が色々な事に気付かされます。それをセミナー・例会に用いることで、いろんなクラブの多様性を知り、また自分のクラブを客観的にみることで、クラブの更なる可能性を見出すことができます。

ロータリアンひとりひとりが、より深くロータリーを学ぶきっかけとし、自主性と指導性を発揮できれば、必ず魅力ある例会を開けることと思っております。

本年度、2740地区で初めての RLIDL 研修会を中村靖治先生を講師にお招きし開催したいと思っております。新型コロナウイルス感染予防の観点から、研修会開催の時期は未定となっておりますが、詳細が決まり次第お知らせいたします。

新しい試みの委員会ですが、皆様方のクラブ運営のお役にたてればと思っております。

魅力ある例会を作ることが、会員増強をはじめ、我々が抱える様々な課題への最大の解決策になると思っております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



新 R Y L A 検討委員会 **徳川 清隆** (唐津 RC)



今年度、初めて組織された委員会「新 R Y L A 検討委員会」の委員長挨拶をさせていただきます。

R Y L A の歴史は、1959年オーストラリアのクイーンズランドで初めて実施され、ビクトリア王女の訪問を記念して地元青年たちによって行われた祭行事でした。1971年国際ロータリーによって正式に採用されたプログラムとなり、次世代のリーダーとなる青少年を自己発見とスキルアップを得られる機会となっております。現在は、クラブレベル、地区レベル、多地区合同にて世界中で実施されています。

R Y L A のプログラム目標は、

1. ロータリーが青少年を尊重し、かつ青少年に関心を抱いていることを明らかにすること。
2. 若者に実地訓練を体験させ、責任ある有能なボランティア青少年リーダーとなる方法を身に付けるよう激励、援助すること。
3. 青少年による青少年への絶えざる、力強い指導を激励すること。
4. 青少年リーダーとして地域社会に尽くしている多数の青少年を公に表彰すること。

(ロータリー青少年指導者養成プログラムより)

となっており、私達、ロータリアンが地域の未来のリーダーに投資をし、今日の若者の倫理観と自信を養い、その若者が直面する問題について学ぶことです。

当地区委員会では、今まで実施されてきた R Y L A プログラムを尊重しながら、地元地域やその範囲を超えて活躍できる有望な青少年となれるよう、新しい息吹を入れ、新しいアイデアとより活力のある事業の実施となれるよう検討を行っていきます。

今後、皆様方のご支援ご協力を賜りながら地区委員会活動を推進していきますので、どうぞ一年間宜しくお願ひ申し上げます。

地区委員長挨拶



クラブ管理運営委員会

竹田 健介 (平戸 RC)



2020～2021年度が始まりました。今日7月2日は平戸クラブの今期第1回例会です。入会式もあり、十八銀行の北條支店長が新たなメンバーとして名を連ねました。ようやく普段の生活を取り戻せそうな雰囲気になってきました。

思えば3月から5月いっぱいまで休会を余儀なくされ、協議の上に、6月から例会を再開しました。今年は早々に暗雲が垂れこめました。

かろうじて2月23日の地区チーム研修セミナーは開催されたものの、PETSはガバナー補佐によるグループ単位での研修がなされました。地区研修協議会はどうするのか。多人数が集まる会はとてもできない。そうこうしているうちにDVDと冊子が届けられました。視聴してみると駒井英基パストガバナーの基調講演があり、各部会のカウンセラーであるパストガバナーの方々の的確なアドバイスが盛り込まれていました。

コロナ禍でいろいろな勉強会はオンラインセミナーに取って代われ、仕事もテレワークが推奨されています。やってみると差し支えない、いやメリットは計り知れない状況が出てきました。私の場合も月1回のオーナー会の会議もZOOM会議に変わりました。30人程が一同に会しての会議がそれぞれの往復の時間、経費をかけることなく会議を開催することができるようになりました。これからは今までの常識にとらわれない柔軟な発想の転換が求められます。

コロナの影響はまだまだ見通せない部分がありますが、1930年代の世界恐慌の時もロータリーは大きな試練に見舞われました。しかし先人たちはぶれることなくロータリー精神を発揮し、今日に至っています。

今こそロータリーの真髄が問われています。今までロータリーで培った人脈、経験、人生研鑽など積み重ねてきたものを活かす時がきたようです。ロータリーの親睦を糧に、この難局を乗り越えていきたいものです。



会員増強委員会

藤永 勝之 (鹿島 RC)



私は、2020-2021年度、第2740地区の会員増強委員委員長を務めさせていただくことになりました。ロータリーに関する知識も経験も乏しい身ではありますが、まずもって、花島ガバナーのご指導、地区役員、会員の方々のご協力、そしてなによりも地区2000余名のロータリーアンの皆様のご支援、ご協力を、心からお願い申し上げる次第です。

2020年-2021年度の国際ロータリーのテーマは【ロータリーは機会の扉を開く】です。

会員増強はまさしく、地域社会に貢献出来る人材を広くロータリーに迎え、私たちの組織に新しい生命や活力を吹き込む、より若い会員を組織することが緊急の課題です。

若い会員にとって、魅力あるロータリークラブに作り変える、絶好のチャンスが、コロナという課題がある今です。ロータリークラブが地域にとって、若い経営者にとって、相談し、頼りがいのあるクラブかどうか、そのためには、自分のクラブのアンケートの結果を検討し、「例年通り」のクラブでなくて、会員の変化、地域社会の変化に対応した、進化したクラブに会長、幹事を中心に進んで頂きたいと思います。

地区委員長挨拶



公共イメージ委員会

原田 徹 (雲仙 RC)



皆様こんにちは。RI 第 2740 地区 2020-2021 年度 公共イメージ委員長の原田と申します。所属は雲仙ロータリークラブで、ロータリー歴は 6 年目となります。よろしくお願いいたします。

本委員会は今年度で 3 年目という新しい委員会で、新設当初から委員として関わらせていただいております。諸事情ございまして、急遽、本年度より委員長の重責を拝命することとなりました。

コロナ禍の影響もあり、新年度の準備等も不十分なままのスタートではありますが、佐賀・長崎地域でのロータリーの公共イメージの増強に努め、会員増強や各クラブの活性化に貢献できればと思います。

おかげ様をもちまして、前年度の目標でありました My Rotary の登録率 50% には届きませんでしたが、47.12% まで登録率を伸ばすことができました。5 クラブに 100% 達成いただき、第 3 地区で最も伸びた地区となることができました。ありがとうございました。

今年度は皆様にロータリーの広報にご協力いただきやすい環境整備を行いたいと思います。委員会としても初めての試みが多い取り組みばかりですので、手探りで進めることになると思いますが、各委員の皆様のご協力をいただきながら形にしていく所存です。

公共イメージ部門は、それ単体では機能しにくい特性がございます。他の各部門と連携し、皆様の活動を世に知らしめることが役割と考えておりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



職業奉仕委員会

山本 正樹 (佐賀南 RC)



1 年越しに地区職業奉仕委員長を仰せつかりました佐賀南ロータリークラブの山本正樹です。皆様のご協力よろしくお願いいたします。

まず始めに新型コロナウイルスによりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。また感染拡大にご尽力されているロータリアンを含む医療関係者をはじめとした多くの皆様に心から感謝申し上げます。

私自身昨年度は、地区基本理念委員会の委員として活動する中で、2720 地区と 2700 地区の RLI ファシリテーション研修に参加し DL の資格をいただきました。研修では入会間もない会員からベテランの会員の方まで、全員から活発な意見交換がなされ刺激を受けました。アウトプットに優るインプットは無いことを痛感した次第であります。

そこで 2740 地区としても、高いリーダーシップ教育を通じてロータリークラブを強固なものとする為にも、研修で学んだプログラムをファシリテーション委員会と連携しロータリアンの自主性と卓越した指導力を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育てるべく、一丸となって邁進していきたいと考えております。

ロータリークラブの第一の真価は奉仕する人を育成し社会に寄贈する事だと思っております。その為にも今までのセミナーを大幅に変更する予定です。

1. RLI を通じてロータリーの基本理念の浸透。
2. セミナーに参加された方が各クラブのリーダーとなり職業奉仕についてクラブ内でファシリテーションを行う。
3. ロータリーの基本理念の承継、会員増強、魅力溢れるクラブ作りという各クラブのサイクルの構築。

単年度で達成できるとは考えていませんが、上記 3 点を目標に掲げ、時間をかけて議論し、2740 地区でやがて多くの優秀な指導者の花が咲くべく下へ下へと根を伸ばす礎となれればと考えております。1 年間どうぞよろしくお願いいたします。

地区委員長挨拶



社会奉仕委員会

佐藤 誠 (雲仙 RC)



2020-2021 年度 社会奉仕委員長を拝命しました。雲仙ロータリークラブ 佐藤 誠と申します。

今年度、第 2740 地区社会奉仕のテーマを「社会奉仕活動を通してロータリーの公共イメージと認知度を向上させよう」と掲げ活動します。

活動方針としましては、「ロータリーデー」の在り方を見直し、各クラブ社会奉仕活動の際には常に「ロータリーデー」が並行して動く事で世間にロータリークラブの公共イメージと認知度を向上させる事が出来ます。

従来の「ロータリーデー」の考えを変えて、社会奉仕活動と二人三脚で行動をします。それから、今だからこそ、国際ロータリークラブを知らしめる事が必要と考えます。

ひとり親家庭生活困窮世帯に対して、食材提供と文房具、雑貨支援などをされている団体やひとり親家庭状況の中、生活保護を受けずダブルワーク等しながら、子供を育てている方たちを支援されている団体等の方々からのご指導を頂きながら私達ロータリークラブとの共同奉仕事業を行う事で公共イメージを向上させる事が出来るのではないのでしょうか。

第 2740 地区での広範囲の中での社会奉仕事業です。

ロータリー社会奉仕活動を通して世間の皆様に理解や関心を促して行こうと考えていますので、皆様のご協力をお願い申し上げ就任のあいさつと致します。



ローターアクト委員会

高松 茂信 (鹿島 RC)



私は平成 27 年 12 月に鹿島ロータリークラブに入会しました。その当時の私は、ロータリーに対し特に何の希望も目標もなく、好きな飲み会以外は淡々と行事を消化するだけの自堕落的なロータリーライフだった様な気がします。

そんな私にある日、転機が訪れました。鹿島クラブのローターアクト委員長になれとの話が来ました。断わろうかとも考えましたが、そこはロータリーあるあるで断われませんでした。初めて接するローターアクト、それまで年上や先輩しかいないロータリーと違って、そこは居心地の良い空間であり、いつしか自分がボス猿にでもなった様な気分でした。

それから 4 年の月日が流れました。私は現在ローターアクト地区委員長を行っています。ただ入会時と今では、アクトそのものも様変わりしてしまいました。2つのクラブの休会、あと残っているクラブも格差が激しく更なる休会クラブも出そうな感じです。年々地区行事も参加者が減り、アクターよりロータリアンの方が参加者が多い事も珍しくありません。

更に追い打ちをかけたのが、去年の九州北部豪雨とコロナウイルスによる相次ぐ地区行事の中止です。水害については、鹿島ローターアクトもクラブ行事そっちのけでボランティアに参加していました。正直担当者としてはアクト活動に集中してもらいたく、複雑な面持ちで眺めていました。コロナウイルスに関しては今更説明する必要も無いと思います。2020～2021年度、果たしてどうなるのか、お先真っ暗といった感じです。

今回のコロナ騒動で改めて思い知らされた事は、アクトの問題にロータリアンは直接タッチ出来ない歯痒さでした。世の中自分の思い通りにならないのは分かっていますが、今年度後半は随分イライラさせられました。でも今は信じるしかないと思っています。一緒にやってきた仲間たちの事を。

地区委員長挨拶



インターアクト委員会

長戸 和光 (牛津 RC)



今年度、第2740地区インターアクト委員会の委員長を拝命することになりました。ロータリー入会から4年にも満たない若輩者ですが、昨年度、一昨年度の徳川委員長から引き継ぎ、精一杯務めさせていただきますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

インターアクトプログラムは、ロータリーの五大奉仕部門の1つである青少年奉仕の活動を構成しており、当地区には、現在のところ21のロータリークラブが提唱する22のインターアクトクラブがあります。

地区のインターアクト委員会では、インターアクターの国際理解や資質を向上させるための学びの場として、毎年年次大会を開催し、さらに秋季と冬季の2度に亘って指導者研修を開催して参りました。

本年度については、コロナウイルスの影響で年次大会は中止となり、指導者研修会の開催も現時点では決まっておりませんが、できる限り各クラブのインターアクト活動を支援するための活動を行っていきたくと思っています。

また、昨年度より導入したインターアクトクラブ活動認定制度については、インターアクターの活動をさらに支援するための制度として、その趣旨の理解と制度の周知を図って参りたいと存じます。

最後になりますが、試行錯誤が必要とは思いますが、可能な中で最良の活動を行って参りたいと考えますので、どうぞ1年間宜しくお願い申し上げます。



国際青少年交換委員会

樋口 征司 (諫早南 RC)



2020-2021年度青少年交換委員会の委員長を拝命しました諫早南ロータリークラブの樋口征司と申します。どうぞよろしくお願い致します。

委員長という重責ではありますが地区委員の皆様方のお力をお借りし協力し合い、そして各クラブとの連携を強化し、より一層活発な委員会として実施していきたくと思っています。

学生(インバウンド・アウトバウンド)はこのプログラムを通じて言語を学ぶことはもちろんのこと、異文化も学び、友好と親善の輪を広げ、国際理解と平和を築くことと確認しています。

世の中がグローバル化していく中で、世界的に対応能力が身につく人材育成を私たちロータリアンがお手伝いをできればと思っています。

そして、ローテックス(帰国後の学生)との連携を図り派遣予定学生とインバウンドの良きアドバイザーとしてオリエンテーションや各行事等に参加してもらいます。

学生たちは色々な不安や悩み事があります。大人のロータリアンには直接話せない事もあるようなので年齢が近いローテックスがカウンセラー役となり学生からの話等を聞いてもらいそれを私たち委員会に伝えてもらい(ローテックスの意見も取り入れながら)解決策を見出していこうと思います。

前年度(2019-2020)は残念なことに新型コロナウイルス(COVID-19)が世界中に蔓延拡大に伴いインバウンド、アウトバウンド共に早期帰国になり学生はとても残念な思いで帰国しました。私たち地区委員もとても辛い気持ちでいっぱいでした。

今年度の派遣のプログラムは花島ガバナーと委員会で協議し、この新型コロナウイルスが何時終息するのか全く目途がついていない中での学生を派遣するのは危険すぎるとの判断で中止といたしました。

今年度派遣予定の学生はそのまま次年度留学出来るように調整しています。

よって次の年度の学生募集はかけないようにいたします。

私たち地区委員、力を合わせ学生ファーストでより充実したプログラムを行っていきたくと思っています。各クラブ(会員)の皆様のご理解とご協力よろしくお願い申し上げます。

地区委員長挨拶



RYLA 委員会

相浦 封哉 (多久 RC)



本年度より、山口委員長の後任として、RYLA地区委員長を務めさせて頂くことになりました。

RYLAはロータリー青少年指導者養成プログラムで、地区内の若き指導者を育成する事を目的としております。当地区では年1回、ホストクラブが移行する形がとられ、昨年度、長崎北RC主催の第41回RYLAは残念ながらコロナ禍の為に中止となりましたが、40回の長きに渡り連続と継続して来ましたが、

近年では、第37回長崎RCの「観光フィールドワーク」、第38回伊万里RCの「HUG避難所運営」、第39回多久RCの「論語で学ぶ」、第40回島原RCの「このRYLAが君を変えるー島原半島南部の歴史を訪ねて」などを開催して来ましたが、

この方式は上記の通り、その地域の特徴あるRYLAを開催出来る事や、その目標に向けてホストクラブが非常に活性化するなどの長所がある反面、ホストクラブが毎年替わる事による地域クラブ格差、事業継承の困難さ、反省点・修正点を次にフィードバックしづらいなどの問題点がある事も事実です。

このような事を鑑み、2019～2020年度千葉憲哉ガバナーの元、ホストクラブの持ち回りから地区委員会主導による「新RYLA検討委員会」の構想が立ち上げられました。

よって、既存のホストクラブ主催によるRYLAは、今年度、佐世保西RCの第42回開催が最後になる予定です。ホストクラブを快諾して頂いた佐世保西RCには心より感謝申し上げます。

当委員会としましては、第13回全国RYLA研究会出席も含め、コロナ禍の為に予断は許しませんが、佐世保西RCと連絡会議等を行い、本年度のRYLAが是非とも成功する様、委員会一同お手伝いしたいと思います。本年度も宜しくお願い致します。



ロータリー財団委員会

岡村 康司 (長崎南 RC)



2740地区ロータリー財団委員会は、今年度も4つの委員会と3つの小委員会を地区の財団部門として統轄運営をしております。ロータリー財団は創立者アーチ・Cクラフの崇高な奉仕理念の下に今年で105年目を迎えました。日本のロータリークラブにも財団の理念が浸透しつつあります。

地区委員会としての主な活動目標は、財団の使命である「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、恒久的な平和を達成できるようにする」と一致する奨学金、各種プロジェクトに使われる資金、換言すればRIの財団本部から支給される地区補助金、グローバル補助金を如何に効率的に利用していくかが求められています。

行われる事業は活動の指標となる6つの重点分野（①平和と紛争予防/紛争解決 ②疾病予防と治療 ③水と衛生 ④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率向上 ⑥経済と地域社会の発展）に合致し、これらすべてが持続可能、測定可能でなければなりません。今年度2020-2021年度はグローバル補助金、地区補助金の奨学生を医学の分野と芸術（音楽）で二人の奨学生を派遣します。

11月はロータリー財団月間ですので、今年もできるだけ多くのクラブの例会で卓話を行いたいと思います。また同じく11月下旬に財団セミナー、翌年2月に補助金セミナーを開催します。

ロータリー財団がもっと身近に感じていただけるよう今年もメンバー一丸となり努力していきたいと思っています。

一年間のご支援ご協力をお願いいたします。

地区委員長挨拶



補助金委員会

西川 義文 (大村 RC)



本年度補助金委員長として再登板いたしました。

2740地区ロータリー財団委員会活動に委員会の皆様と共に精一杯努めたいと思っております。ご支援ご協力宜しくお願い申し上げます。

さて、皆様ご承知の通り補助金委員会は、

①. 各クラブが行う奉仕活動を地区補助金という形で支援します。

補助金申請あたっては、先ずロータリー財団の理念でもある「地域も含む世界で良いことをしよう」に合致するか。2. 「補助金管理セミナー」に出席し、地区とMOU(覚書)を取り交わしているか。が前提ともなりますが、各クラブからの申請審査にあたっては、柔軟性をもって実施し、委員会とのやり取りの中で協議と修正を行いながらで地区内での奉仕活動に活用できるよう進めて参ります。

各クラブにおかれましては、1年目に計画年度、2年目に事業実施年度という位置付けを確定し、2カ年をスパンとした地区補助金事業を計画下さいますようお願いいたします。

②. 世界へつながる活動も支援します。

グローバル補助金を使って、重点6分野での大型の海外社会奉仕活動にもチャレンジを推奨しています。RIもR財団も世界的活動を視野に入れた活動への参加とポリオ撲滅やコロナ感染症対策のための参加の形として財団への資金寄付を求めています。

昨年は、ネパールに於いて現地小中学生のための保健衛生向上のための指導やトイレ、手洗い場整備をグローバル補助金活動として、地区補助金も併せて活用した活動を行いました。今年度も他国のRCから支援要請に対し財団の目的に照らし慎重検討を行い、委員会として調査を進めていきます。

ロータリー財団は、私たちロータリアンの寄付金によってのみ支えられています。そして、ロータリー財団のプログラムによって人道的分野や教育面での奉仕活動により「世界で良いことをしよう」の実践をしているのだということをご理解頂きたいと思えます。

③. 未来ある若者の研究を支援します。

財団奨学・学友小委員会は、留学し研究を深める学びを希望する学生や研究者に書類・面接試験をおこない、地区補助金奨学生とグローバル補助金奨学生を選定して留学を支援しています。現在、カナダのトロント大学院と英国のサセックス大学院へ2名のグローバル補助金奨学生と地区補助金奨学生としてアメリカのラトガース大学院へ1名派遣しています。

2020-21年度の奨学生につきましては、アメリカのミシガン大学大学院へグローバル補助金奨学生として医療関係で1名、地区補助金奨学生として音楽関係で1名の候補者を財団本部へ申請を行うようしています。

地区内各クラブとR財団本部との橋渡し役として1年間頑張ります。

地区委員長挨拶



資金推進委員会

永尾 竹則 (佐賀西 RC)



2020-21 年度国際ロータリー第 2740 地区資金推進委員会委員長を仰せつかりました佐賀西ロータリークラブの永尾竹則と申します。2 年のブランクを経て再び担当させて頂くことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

当委員会の役割は、皆様ロータリアンの方々からのご寄付をお願いさせて頂くことにあります。100 年余り前、当時のアーチ C. クランフ国際ロータリー会長が「世界で良いことをするために」基金を提案したことに始まり現在に至っています。

この長い間、世界中のロータリークラブが各々に様々な奉仕活動を行ってきました。皆様の所属されるロータリークラブにおかれましても、これまで様々な奉仕活動を行ってこられたことと思います。それらの活動は皆さまからロータリー財団へのご寄付によって賄われています。また、ポリオ撲滅に対しても継続的に力を注いでおり、常在国はあと 3 か国を残すのみとなりもうひと踏ん張りのところまで来ております。このような活動も皆様からのご寄付があったから実現できたことです。お陰様で、ご寄付は、これまで各クラブの皆様から多大なご協力を頂きまして、寄付金『ゼロ』クラブは『ゼロ』の状況が継続されています。

当地区の今年度の目標は、ロータリー財団への年次寄付を 1 人平均『150』ドル/年間、米山記念奨学会への年次目標は 1 人平均 1 万 6000 円/年間、さらに、ポリオプラスへのご支援としてポリオに関連した行事の実施（例えば、月 1 回ワンコイン運動）とされております。そして、寄附金『ゼロ』クラブ『ゼロ』を今年度も継続できるよう皆様のご協力をお願い申し上げます。

皆様から頂いたご寄付は全て奉仕活動に使用されます。充実した奉仕活動のために今年度におきましても引き続き皆様の寄付へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



ポリオプラス委員会

上田 康雄 (長崎北 RC)



本年度もポリオプラス委員長を拝命いたしました。3 年目になります。

ポリオはウイルスによっておこる感染症です。人から人へ食物などを介して経口的に感染します。ほとんど（9 割）が不顕性感染で、症状が出ても軽い風邪程度ですが、まれに（1%）ウイルスが中枢の運動神経をおかして麻痺を起こします。このうち 1 割程度、呼吸筋が麻痺し呼吸器をつけないと死亡します。日本においても昭和 24 ~ 36 年頃にかけて大流行しました。

不顕性感染が多いということはウイルスを持っているが元気で自由に動ける人が多いということです。ブラジルのサッカーワールドカップの際、ブラジルの空港の下水からアフリカ由来のポリオウイルスが検出されたことがあります。従って此の活動を緩めると、あっという間に世界中にウイルスが蔓延してしまうかもしれません。

ポリオはワクチンによる予防が可能です。ポリオは 1988 年には世界 125 カ国において年間 35 万例が発生していました。ポリオプラスなどの活動により 2009 年には約 1600 例まで減少、2018 年は 33 例でした。しかし 2019 年はナイジェリアでの発症はありませんでしたが、パキスタン 146 例、アフガニスタン 29 例と全体では増加しています。2020 年は 7/01 現在、パキスタン 57 例、アフガニスタン 26 例です。ナイジェリアは 2017 以後、今年も発症は 0 となっています。

現在、世界では新型コロナウイルスによるパンデミックが起きていますが、各国のポリオ根絶チームは、今まで築いてきたインフラを活用して、特にポリオ常在国の人々を新型コロナウイルスから守るべく支援に乗り出しているとのこと。

完全な根絶まで、もう少しです。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

地区委員長挨拶



資金管理委員会

喜多 清基 (島原 RC)



この度、R財団・資金管理委員会委員長を仰せつかりました。富永雪春君（伊万里）、西村勇二君（長崎）に委員をお願いして職務を遂行してまいりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

私は、長年R財団奨学委員会に所属して、国際感覚を身につけた優秀な若者の海外留学を支援する仕事を勤めてきました。その中で、2740地区にも非常に優秀な人材が数多く存在することを知る事となり、誇りと喜びを持って携わっております。

仕事の内容は主に、募集→選考→留学のための教育・資金提供→帰国後の地区の学友としての管理など段階を追って行っており、多くの資金とその管理が不可欠です。日本の未来を担う志の高い若者たちのために、どうぞ皆様の物心両面の御支援をお願い致します。



米山記念奨学委員会

松田 洋一 (諫早北 RC)



2020年～2021年度より、米山記念奨学会地区委員長を拝命致しました。

前年度は副地区幹事として、米山記念奨学委員会を担当させて頂き皆様には大変お世話になりました。

前任の大家委員長他6名の方には留年して頂き、新たに4名の委員が加入し12名のメンバーにて運営する事になりました。

メンバーと力を合わせて米山の活動を行っていききたいと思っている所存です。

今年度当地区では、米山奨学生継続を含め16名と10月からの海外応援者1名を加えて17名を受入れております。

委員会の役割としまして

- 1) 奨学事業の理解促進
- 2) 寄付増進
- 3) 奨学生・学友との交流促進と広報

以上の事を役割として掲げて活動をして参ります。

米山記念奨学事業の目的は、学生の経済的なハンディを補うことを目的としているのではなく、ロータリーの事業に参加をカウンセラーとの交流を通してロータリーの事をより深く理解して頂いて奨学生修了後も、各々の出身国と日本との友好的な関係を築く礎となる存在を育てることでもありますので御理解を頂きたいと思っております。

今年度、当地区では、年間個人平均寄付額16,000円/人を花島ガバナーより呼び掛けて頂いておりますので、55クラブのロータリアンの皆様におかれましては、米山奨学事業に対し是非ともご協力をお願い申し上げます、就任の挨拶とします。

お詫びと訂正 月信7月号の誤りにつきまして、お詫び申し上げるとともに訂正させていただきます。

◇訂正：12、13ページ 公式訪問・クラブ協議会日程表

佐世保 RC クラブ協議会日程 (誤) 8月12日(水) → (正) 8月5日(水)

例会会場 (誤) 佐世保玉屋 → (正) レオプラザホテル佐世保

諫早西 RC クラブ協議会日程 (誤) 8月12日(水) → (正) 9月12日(水)

ふるさと鹿島の原風景



能古見小学校 中川内分校

昭和 30 (1955) 年代 提供：能古見小学校

中川内分校は、中川内（山下を除く）、早ノ瀬、大野、広平などの地域の子ども達が4年生まで学んでいた。昭和 56 年（1981）に本校に統合され、閉校となった。現在、跡地は中川内公民館となっている。

編集後記

この度の九州豪雨により被災された方々や地域に対し、心よりお見舞申し上げます。
コロナ禍の収束が見えない状況下での度重なる災難。このような時にこそ、我々ロータリーは何ができるのかを改めて考えさせられます。ロータリアン一丸となって、かつてのロータリーがそうであったように、この難局を乗り越えてまいりましょう。

第 2740 地区ガバナー事務所

〒849-1315 佐賀県鹿島市大字三河内甲 290-7

TEL : 0954-69-1705 FAX : 0954-69-1706

E-mail : ri2740hanashima@athena.ocn.ne.jp

URL : <http://www.d2740.org/>